

	作品	講評
1 黒部川 (低学年 金賞)	 <p>「山の中の くろべがわ」</p> <p>いみずしりつおおしま 射水市立大島小2年</p> <p>はたけやま しゅんすけ 畠山 峻輔 さん</p>	<p>黒部川にかかる赤い橋を走る列車に向かって元気よく大きく手をふる手前の人物は作者本人でしょうか。鮮やかな緑に囲まれた中、高い山々からの水が大きな川となり、勢いよく流れているのが伝わります。大自然の様子はもちろん、赤い橋や列車も色彩豊かに描かれています。まるで見る人も作者同様に「山彦橋」を散策したように、すがすがしい気持ちになることができる作品です。</p>
2 黒部川 (高学年 金賞)	 <p>「夏の片貝川」</p> <p>くろべしりついで 黒部市立石田小5年</p> <p>くるまや ほのか 車谷 穂香 さん</p>	<p>片貝川のせせらぎを細やかに丁寧に描いた作品です。ゆったりとくねりながら流れる川の流れ、しぶきの様子や光で輝く様子はもちろん、周辺の緑や河原の小石などまで繊細に描いています。遠景に見える山と線路の直線と川の動きの対比が印象的な構図で、清らかで穏やかな川の流れが強く印象に残ります。</p>
3 常願寺川 (低学年 金賞)	 <p>「大好きな しょう名だき」</p> <p>とやましりつほりかわみなみ 富山市立堀川南小3年</p> <p>たしろ まき 田代 茉樹 さん</p>	<p>勢いよく流れ落ちる称名滝が力強く描かれています。水が光にあたり生まれた色鮮やかな虹、滝の着水場所にはパッチワークのように色とりどりの細かな四角形が描かれており、抽象的に水のきらめきを表現しています。力強さと繊細さのバランスがうまく、作者が称名滝のダイナミックさに魅了されたことがよく伝わる作品です。</p>

	作品	講評
4 常願寺川 (高学年 金賞)	 <p>「希望の架け橋」 とやましりつみずはしとうぶ 富山市立水橋東部小6年</p> <p>まがら たいき 麻柄 泰輝 さん</p>	<p>白岩川で夏に行われる火流し（御神灯流し）は、炎そのものがゆらゆらと川面を漂い流れるたいへん幻想的なものです。空を暗闇ではなくピンク色を基調とした温かみある色で描き、火を川に送り出す人まで繊細に描写しています。光によって空と川がつながった瞬間を描いたこの場面は、作者が夢を想像したものかもしれません。本作の題名「希望の架け橋」どおり、自分をふくめた人々の夢や希望をかなえる瞬間を川辺の風景に託して描いています。</p>
5 神通川 (低学年 金賞)	 <p>「大すきな川」 とやましりつやすうち 富山市立保内小2年</p> <p>やました しん 山下 心 さん</p>	<p>光にきらめきながらゆったりとした川の流れを、やわらかな筆使いで描いています。あえて水を多く含んだ絵の具の塗り方をすることで、川の流れの穏やかさがよく伝わります。画面上方にある橋や建物は、控えめにグレーや黒色で柔らかに描かれており、人々の生活と密接した川なのだとわかります。本来は「おわら風の盆」でにぎやかになる井田川を描いた本作、作者の街や川に対する優しい気持ちが伝わってきます。</p>
6 神通川 (高学年 金賞)	 <p>「きれいな川と草」 とやましりつほりかわ 富山市立堀川小4年</p> <p>やちの さき 谷内野 咲希 さん</p>	<p>学校の近くでしょうか、富山市内のどどこ公園といった川の風景を細いペンを使って勢いよく描いています。手前から芝生や草花、川の流れ、向こう岸の石積の堤防、街並みへとどンドン絵の中にひき込まれていきます。風を切って飛び交う鳥や小さな虫もいて観察力に驚きます。透明できらきらした川面の様子や風で揺れているような葉っぱが美しいです。全体が透き通るような色合いでまとまっていて、とてもすがすがしい空気を感じる作品です。</p>

	作品	講評
7 庄川 (低学年 金賞)	 <p>「鮎のいる きれいな川」</p> <p>たかおかしりつごい 高岡市立五位小2年</p> <p>にしの ゆいと 西野 結人 さん</p>	<p>画面に大きく庄川の流れと河原の風景が上手に描かれています。庄川の雄大さが伝わってきて大変良いです。小さく描かれた人物をよく見ると、黒い帽子に白いベスト、手には長い竿、腰にはタモをぶら下げ、垂らした糸先を見つめて庄川の恵みをじっとねらっているようです。きっと鮎釣り名人に違いありません、そんな想像ができます。この作品からは静けさの中に庄川の清い流れの音が聞こえてくるようで、とても味わい深くて良い作品です。</p>
8 庄川 (高学年 金賞)	 <p>「庄川にうかぶ 大きな岩」</p> <p>なんとしりつじょうはな 南砺市立城端小5年</p> <p>たけした あやと 竹下 綾人 さん</p>	<p>庄川の上流へ向かう途中の岩の島の景色を描いています。こんな場所をよく知っていたなあとびっくりします。水面近くのむき出しになっている黒い岩は強い流れでもびくともしない感じが良く出ています。緑のところは細かい点々で工夫して描いてあって、こんもりと茂った樹々の様子が伝わります。庄川の豊かな流れが岩にあたって白い波しぶきをあげている様子が、筆で力強く表現されていて、豪快で気持ちの良い作品です。</p>
9 小矢部川 (低学年 金賞)	 <p>「どこまで つづいているのかな」</p> <p>ひみしりつひみのえ 氷見市立比美乃江小3年</p> <p>たにい ちほ 谷井 知歩 さん</p>	<p>右奥のほうへと続いていく仏生寺川の様子をととても上手に描いています。小さな船や赤い橋が作品を引き立てています。水の描き方もいろんな太さの線や色を使って塗ってあり、ゆらゆらと水面が揺らいでいる感じが出ていてとても良いです。川と一緒に街並みや電信柱、電線も遠くのほうへとつながっていくように、だんだんと小さく描いてあってとても素晴らしいです。この川の上流へ行ってみたくなる作品です。</p>

	作品	講評
10 小矢部川 (高学年 金賞)	 <p>「夏の橋から 見る山田川」</p> <p>なんとしりつじょうはな 南砺市立城端小</p>	<p>橋の上から見渡した城端の景色と山田川をダイナミックな構図で描いています。クレヨンや絵の具を上手に使って、カーブする川、奥のほうの山、青い空、浮かぶ雲、家並み、草や堤防、手前の橋に至るまで目に映るもの全部を工夫しながら楽しんで描いていることが伝わってきてとても良いです。いろいろな想像がふくらみ、見ている人も橋の上に立って眺めているような気分にならせてくれる不思議な力を持った作品です。</p>
11 審査員特別賞	 <p>「お父さんの会社と 小矢部川の赤い橋」</p> <p>ひみしりつこなん 氷見市立湖南小3年</p> <p>とがわ あい 戸川 藍 さん</p>	<p>お父さんの会社と近くを流れる小矢部川を描いています。建物や送電線、赤い橋には荷物を運ぶ大型トラックや自動車、人の行き交う様子がとても細かく丁寧に描かれていて、日常の暮らしのすぐそばに川が流れていることがよくわかって温かい気持ちになります。身近な川と会社で働くお父さんのことを誇らしく思いながら描いた作者の気持ちも一緒に伝わってくるすてきな作品です。</p>
12 審査員特別賞	 <p>「四月の黒部川」</p> <p>くろべしりつちゅうおう 黒部市立中央小4年</p> <p>たむら そうた 田村 宗大 さん</p>	<p>赤い橋を中心に雪解けをはじめた立山連峰、その清らかで冷たい水が川の流れとなり麓へと流れてきた様子が描かれています。水は生命の源で、緑を育ててくれていること、私たちの生活を支えてくれていることが伝わってきます。明快な色彩と構図で見ると人を元気で清らかな気持ちにならせてくれる作品です。</p>